

青島日本商業會議所

青島日本商業會議所

大正十二年十二月廿四日發行
每週月曜日

第三十五號

一、本報
二、青島日本商業會議所
三、青島日本商業會議所
四、青島日本商業會議所
五、青島日本商業會議所
六、青島日本商業會議所
七、青島日本商業會議所
八、青島日本商業會議所
九、青島日本商業會議所
十、青島日本商業會議所
十一、青島日本商業會議所
十二、青島日本商業會議所
十三、青島日本商業會議所
十四、青島日本商業會議所
十五、青島日本商業會議所
十六、青島日本商業會議所
十七、青島日本商業會議所
十八、青島日本商業會議所
十九、青島日本商業會議所
二十、青島日本商業會議所
二十一、青島日本商業會議所
二十二、青島日本商業會議所
二十三、青島日本商業會議所
二十四、青島日本商業會議所
二十五、青島日本商業會議所
二十六、青島日本商業會議所
二十七、青島日本商業會議所
二十八、青島日本商業會議所
二十九、青島日本商業會議所
三十、青島日本商業會議所
三十一、青島日本商業會議所
三十二、青島日本商業會議所
三十三、青島日本商業會議所
三十四、青島日本商業會議所
三十五、青島日本商業會議所
三十六、青島日本商業會議所
三十七、青島日本商業會議所
三十八、青島日本商業會議所
三十九、青島日本商業會議所
四十、青島日本商業會議所
四十一、青島日本商業會議所
四十二、青島日本商業會議所
四十三、青島日本商業會議所
四十四、青島日本商業會議所
四十五、青島日本商業會議所
四十六、青島日本商業會議所
四十七、青島日本商業會議所
四十八、青島日本商業會議所
四十九、青島日本商業會議所
五十、青島日本商業會議所
五十一、青島日本商業會議所
五十二、青島日本商業會議所
五十三、青島日本商業會議所
五十四、青島日本商業會議所
五十五、青島日本商業會議所
五十六、青島日本商業會議所
五十七、青島日本商業會議所
五十八、青島日本商業會議所
五十九、青島日本商業會議所
六十、青島日本商業會議所
六十一、青島日本商業會議所
六十二、青島日本商業會議所
六十三、青島日本商業會議所
六十四、青島日本商業會議所
六十五、青島日本商業會議所
六十六、青島日本商業會議所
六十七、青島日本商業會議所
六十八、青島日本商業會議所
六十九、青島日本商業會議所
七十、青島日本商業會議所
七十一、青島日本商業會議所
七十二、青島日本商業會議所
七十三、青島日本商業會議所
七十四、青島日本商業會議所
七十五、青島日本商業會議所
七十六、青島日本商業會議所
七十七、青島日本商業會議所
七十八、青島日本商業會議所
七十九、青島日本商業會議所
八十、青島日本商業會議所
八十一、青島日本商業會議所
八十二、青島日本商業會議所
八十三、青島日本商業會議所
八十四、青島日本商業會議所
八十五、青島日本商業會議所
八十六、青島日本商業會議所
八十七、青島日本商業會議所
八十八、青島日本商業會議所
八十九、青島日本商業會議所
九十、青島日本商業會議所
九十一、青島日本商業會議所
九十二、青島日本商業會議所
九十三、青島日本商業會議所
九十四、青島日本商業會議所
九十五、青島日本商業會議所
九十六、青島日本商業會議所
九十七、青島日本商業會議所
九十八、青島日本商業會議所
九十九、青島日本商業會議所
一百、青島日本商業會議所

一、本報
二、青島日本商業會議所
三、青島日本商業會議所
四、青島日本商業會議所
五、青島日本商業會議所
六、青島日本商業會議所
七、青島日本商業會議所
八、青島日本商業會議所
九、青島日本商業會議所
十、青島日本商業會議所
十一、青島日本商業會議所
十二、青島日本商業會議所
十三、青島日本商業會議所
十四、青島日本商業會議所
十五、青島日本商業會議所
十六、青島日本商業會議所
十七、青島日本商業會議所
十八、青島日本商業會議所
十九、青島日本商業會議所
二十、青島日本商業會議所
二十一、青島日本商業會議所
二十二、青島日本商業會議所
二十三、青島日本商業會議所
二十四、青島日本商業會議所
二十五、青島日本商業會議所
二十六、青島日本商業會議所
二十七、青島日本商業會議所
二十八、青島日本商業會議所
二十九、青島日本商業會議所
三十、青島日本商業會議所
三十一、青島日本商業會議所
三十二、青島日本商業會議所
三十三、青島日本商業會議所
三十四、青島日本商業會議所
三十五、青島日本商業會議所
三十六、青島日本商業會議所
三十七、青島日本商業會議所
三十八、青島日本商業會議所
三十九、青島日本商業會議所
四十、青島日本商業會議所
四十一、青島日本商業會議所
四十二、青島日本商業會議所
四十三、青島日本商業會議所
四十四、青島日本商業會議所
四十五、青島日本商業會議所
四十六、青島日本商業會議所
四十七、青島日本商業會議所
四十八、青島日本商業會議所
四十九、青島日本商業會議所
五十、青島日本商業會議所
五十一、青島日本商業會議所
五十二、青島日本商業會議所
五十三、青島日本商業會議所
五十四、青島日本商業會議所
五十五、青島日本商業會議所
五十六、青島日本商業會議所
五十七、青島日本商業會議所
五十八、青島日本商業會議所
五十九、青島日本商業會議所
六十、青島日本商業會議所
六十一、青島日本商業會議所
六十二、青島日本商業會議所
六十三、青島日本商業會議所
六十四、青島日本商業會議所
六十五、青島日本商業會議所
六十六、青島日本商業會議所
六十七、青島日本商業會議所
六十八、青島日本商業會議所
六十九、青島日本商業會議所
七十、青島日本商業會議所
七十一、青島日本商業會議所
七十二、青島日本商業會議所
七十三、青島日本商業會議所
七十四、青島日本商業會議所
七十五、青島日本商業會議所
七十六、青島日本商業會議所
七十七、青島日本商業會議所
七十八、青島日本商業會議所
七十九、青島日本商業會議所
八十、青島日本商業會議所
八十一、青島日本商業會議所
八十二、青島日本商業會議所
八十三、青島日本商業會議所
八十四、青島日本商業會議所
八十五、青島日本商業會議所
八十六、青島日本商業會議所
八十七、青島日本商業會議所
八十八、青島日本商業會議所
八十九、青島日本商業會議所
九十、青島日本商業會議所
九十一、青島日本商業會議所
九十二、青島日本商業會議所
九十三、青島日本商業會議所
九十四、青島日本商業會議所
九十五、青島日本商業會議所
九十六、青島日本商業會議所
九十七、青島日本商業會議所
九十八、青島日本商業會議所
九十九、青島日本商業會議所
一百、青島日本商業會議所

一、本報
二、青島日本商業會議所
三、青島日本商業會議所
四、青島日本商業會議所
五、青島日本商業會議所
六、青島日本商業會議所
七、青島日本商業會議所
八、青島日本商業會議所
九、青島日本商業會議所
十、青島日本商業會議所
十一、青島日本商業會議所
十二、青島日本商業會議所
十三、青島日本商業會議所
十四、青島日本商業會議所
十五、青島日本商業會議所
十六、青島日本商業會議所
十七、青島日本商業會議所
十八、青島日本商業會議所
十九、青島日本商業會議所
二十、青島日本商業會議所
二十一、青島日本商業會議所
二十二、青島日本商業會議所
二十三、青島日本商業會議所
二十四、青島日本商業會議所
二十五、青島日本商業會議所
二十六、青島日本商業會議所
二十七、青島日本商業會議所
二十八、青島日本商業會議所
二十九、青島日本商業會議所
三十、青島日本商業會議所
三十一、青島日本商業會議所
三十二、青島日本商業會議所
三十三、青島日本商業會議所
三十四、青島日本商業會議所
三十五、青島日本商業會議所
三十六、青島日本商業會議所
三十七、青島日本商業會議所
三十八、青島日本商業會議所
三十九、青島日本商業會議所
四十、青島日本商業會議所
四十一、青島日本商業會議所
四十二、青島日本商業會議所
四十三、青島日本商業會議所
四十四、青島日本商業會議所
四十五、青島日本商業會議所
四十六、青島日本商業會議所
四十七、青島日本商業會議所
四十八、青島日本商業會議所
四十九、青島日本商業會議所
五十、青島日本商業會議所
五十一、青島日本商業會議所
五十二、青島日本商業會議所
五十三、青島日本商業會議所
五十四、青島日本商業會議所
五十五、青島日本商業會議所
五十六、青島日本商業會議所
五十七、青島日本商業會議所
五十八、青島日本商業會議所
五十九、青島日本商業會議所
六十、青島日本商業會議所
六十一、青島日本商業會議所
六十二、青島日本商業會議所
六十三、青島日本商業會議所
六十四、青島日本商業會議所
六十五、青島日本商業會議所
六十六、青島日本商業會議所
六十七、青島日本商業會議所
六十八、青島日本商業會議所
六十九、青島日本商業會議所
七十、青島日本商業會議所
七十一、青島日本商業會議所
七十二、青島日本商業會議所
七十三、青島日本商業會議所
七十四、青島日本商業會議所
七十五、青島日本商業會議所
七十六、青島日本商業會議所
七十七、青島日本商業會議所
七十八、青島日本商業會議所
七十九、青島日本商業會議所
八十、青島日本商業會議所
八十一、青島日本商業會議所
八十二、青島日本商業會議所
八十三、青島日本商業會議所
八十四、青島日本商業會議所
八十五、青島日本商業會議所
八十六、青島日本商業會議所
八十七、青島日本商業會議所
八十八、青島日本商業會議所
八十九、青島日本商業會議所
九十、青島日本商業會議所
九十一、青島日本商業會議所
九十二、青島日本商業會議所
九十三、青島日本商業會議所
九十四、青島日本商業會議所
九十五、青島日本商業會議所
九十六、青島日本商業會議所
九十七、青島日本商業會議所
九十八、青島日本商業會議所
九十九、青島日本商業會議所
一百、青島日本商業會議所

一、本報
二、青島日本商業會議所
三、青島日本商業會議所
四、青島日本商業會議所
五、青島日本商業會議所
六、青島日本商業會議所
七、青島日本商業會議所
八、青島日本商業會議所
九、青島日本商業會議所
十、青島日本商業會議所
十一、青島日本商業會議所
十二、青島日本商業會議所
十三、青島日本商業會議所
十四、青島日本商業會議所
十五、青島日本商業會議所
十六、青島日本商業會議所
十七、青島日本商業會議所
十八、青島日本商業會議所
十九、青島日本商業會議所
二十、青島日本商業會議所
二十一、青島日本商業會議所
二十二、青島日本商業會議所
二十三、青島日本商業會議所
二十四、青島日本商業會議所
二十五、青島日本商業會議所
二十六、青島日本商業會議所
二十七、青島日本商業會議所
二十八、青島日本商業會議所
二十九、青島日本商業會議所
三十、青島日本商業會議所
三十一、青島日本商業會議所
三十二、青島日本商業會議所
三十三、青島日本商業會議所
三十四、青島日本商業會議所
三十五、青島日本商業會議所
三十六、青島日本商業會議所
三十七、青島日本商業會議所
三十八、青島日本商業會議所
三十九、青島日本商業會議所
四十、青島日本商業會議所
四十一、青島日本商業會議所
四十二、青島日本商業會議所
四十三、青島日本商業會議所
四十四、青島日本商業會議所
四十五、青島日本商業會議所
四十六、青島日本商業會議所
四十七、青島日本商業會議所
四十八、青島日本商業會議所
四十九、青島日本商業會議所
五十、青島日本商業會議所
五十一、青島日本商業會議所
五十二、青島日本商業會議所
五十三、青島日本商業會議所
五十四、青島日本商業會議所
五十五、青島日本商業會議所
五十六、青島日本商業會議所
五十七、青島日本商業會議所
五十八、青島日本商業會議所
五十九、青島日本商業會議所
六十、青島日本商業會議所
六十一、青島日本商業會議所
六十二、青島日本商業會議所
六十三、青島日本商業會議所
六十四、青島日本商業會議所
六十五、青島日本商業會議所
六十六、青島日本商業會議所
六十七、青島日本商業會議所
六十八、青島日本商業會議所
六十九、青島日本商業會議所
七十、青島日本商業會議所
七十一、青島日本商業會議所
七十二、青島日本商業會議所
七十三、青島日本商業會議所
七十四、青島日本商業會議所
七十五、青島日本商業會議所
七十六、青島日本商業會議所
七十七、青島日本商業會議所
七十八、青島日本商業會議所
七十九、青島日本商業會議所
八十、青島日本商業會議所
八十一、青島日本商業會議所
八十二、青島日本商業會議所
八十三、青島日本商業會議所
八十四、青島日本商業會議所
八十五、青島日本商業會議所
八十六、青島日本商業會議所
八十七、青島日本商業會議所
八十八、青島日本商業會議所
八十九、青島日本商業會議所
九十、青島日本商業會議所
九十一、青島日本商業會議所
九十二、青島日本商業會議所
九十三、青島日本商業會議所
九十四、青島日本商業會議所
九十五、青島日本商業會議所
九十六、青島日本商業會議所
九十七、青島日本商業會議所
九十八、青島日本商業會議所
九十九、青島日本商業會議所
一百、青島日本商業會議所

一、本報
二、青島日本商業會議所
三、青島日本商業會議所
四、青島日本商業會議所
五、青島日本商業會議所
六、青島日本商業會議所
七、青島日本商業會議所
八、青島日本商業會議所
九、青島日本商業會議所
十、青島日本商業會議所
十一、青島日本商業會議所
十二、青島日本商業會議所
十三、青島日本商業會議所
十四、青島日本商業會議所
十五、青島日本商業會議所
十六、青島日本商業會議所
十七、青島日本商業會議所
十八、青島日本商業會議所
十九、青島日本商業會議所
二十、青島日本商業會議所
二十一、青島日本商業會議所
二十二、青島日本商業會議所
二十三、青島日本商業會議所
二十四、青島日本商業會議所
二十五、青島日本商業會議所
二十六、青島日本商業會議所
二十七、青島日本商業會議所
二十八、青島日本商業會議所
二十九、青島日本商業會議所
三十、青島日本商業會議所
三十一、青島日本商業會議所
三十二、青島日本商業會議所
三十三、青島日本商業會議所
三十四、青島日本商業會議所
三十五、青島日本商業會議所
三十六、青島日本商業會議所
三十七、青島日本商業會議所
三十八、青島日本商業會議所
三十九、青島日本商業會議所
四十、青島日本商業會議所
四十一、青島日本商業會議所
四十二、青島日本商業會議所
四十三、青島日本商業會議所
四十四、青島日本商業會議所
四十五、青島日本商業會議所
四十六、青島日本商業會議所
四十七、青島日本商業會議所
四十八、青島日本商業會議所
四十九、青島日本商業會議所
五十、青島日本商業會議所
五十一、青島日本商業會議所
五十二、青島日本商業會議所
五十三、青島日本商業會議所
五十四、青島日本商業會議所
五十五、青島日本商業會議所
五十六、青島日本商業會議所
五十七、青島日本商業會議所
五十八、青島日本商業會議所
五十九、青島日本商業會議所
六十、青島日本商業會議所
六十一、青島日本商業會議所
六十二、青島日本商業會議所
六十三、青島日本商業會議所
六十四、青島日本商業會議所
六十五、青島日本商業會議所
六十六、青島日本商業會議所
六十七、青島日本商業會議所
六十八、青島日本商業會議所
六十九、青島日本商業會議所
七十、青島日本商業會議所
七十一、青島日本商業會議所
七十二、青島日本商業會議所
七十三、青島日本商業會議所
七十四、青島日本商業會議所
七十五、青島日本商業會議所
七十六、青島日本商業會議所
七十七、青島日本商業會議所
七十八、青島日本商業會議所
七十九、青島日本商業會議所
八十、青島日本商業會議所
八十一、青島日本商業會議所
八十二、青島日本商業會議所
八十三、青島日本商業會議所
八十四、青島日本商業會議所
八十五、青島日本商業會議所
八十六、青島日本商業會議所
八十七、青島日本商業會議所
八十八、青島日本商業會議所
八十九、青島日本商業會議所
九十、青島日本商業會議所
九十一、青島日本商業會議所
九十二、青島日本商業會議所
九十三、青島日本商業會議所
九十四、青島日本商業會議所
九十五、青島日本商業會議所
九十六、青島日本商業會議所
九十七、青島日本商業會議所
九十八、青島日本商業會議所
九十九、青島日本商業會議所
一百、青島日本商業會議所

本號記事

- 山東の労働者（其二）
- 鹽餘借款團の九六公債
- 生肉輸出業者の償却金積立
- 棉花水質検査所の必要
- 在青諸銀行の營業狀況
- 無電問題に對する支那の態度
- 支那商標法問題
- 銀地並爲替
- 商況（自十五日）
- 支那に於ける樟腦の產額
- 支那國有鐵道の通行稅
- 青島三聯發售重要品統計（十月中）
- 生肉輸出者別統計表（十一月分）

資料

山東の労働者（其二）

(3)、住所 支那労働者はその收入極めて小額なるを以てその住居の如きも單に露雨を凌ぐを以て足れりとし其の下級なるものに到りては隨所アンペラにて山形の小家を建て側に小さき炊事場を作り半永久的の住居となし時には轉々と移住するの如くして甚だしきに到りては田圃の間工場の附近海港其他仕事に便利なる所を選びて群居し一部落を形勢する事あり特に夏季に在りては下級苦力は路傍に横臥するを屢々見る所なり。苦力の永久的住居としては北支那に在りては木造の家屋は殆んどなく皆土造又は粗製の煉瓦造りなり其の構造は僅少の木材を以て柱梁を組立て高梁程を以て壁の塗地又は天井となし外部は磚を以て壁とす、少し上等の部になれば磚に代ふるに煉瓦を以てす何れも入口は狭小にして特に窓數少く採光頗る惡し、普通間口四間奥行一間に分ち上間には一段高くし防寒用として炕の設備あるもの多く炕の上には高梁程又はアンペラを敷く。

沿線に於ける苦力は半農にして時々各種労働に従事するに關はらず家には數畝の土地を有し相當の雜穀糧食を貯藏するものあり、又外來苦力の獨身者は都邑に

近き村落にて間借するに一間約月五吊文（約二元）稍遠き所に三吊文（一元二十仙）を要す。而れ共苦力は實際上一間に數人合宿するを以て其の一人當の間借賃は著しく安値となる。博山その他各地の運搬夫宿の木賃宿料は一泊二文乃至四文なり、青島に於ける苦力宿泊店は必ず裏小路に存じ大なるものは百人乃至二百人を收容し得るもの多きは四五百人を收容するに足るの設備なり、室は土間に安平を敷くのみにて中には木板を以て急造の二階を作り多數收容の便となす、多くは家内にて焼餅、饅頭を賣り又は外部より賣子の來るものもあれど又時に室の一週に簡單なる炊事場を設け一人の賄人ありて彼等に食物の供給をなすものあり。

次に農民の住所に就き觀察するに屋敷は時に相當廣さのあり家屋の如きも普通労働者の如く狭からず家屋建築の原料は下層は煉瓦を用ひ上層は土を用ひ屋根は柴を用ひ上部を土にて塗る、窓は極めて小さく室の内外の高さは相等しく時に人畜同一の庭内に居住する事あり甚しきは室を用ひす相當有る者は敵壘式の樓屋を設け頗る堅固にして極貧の者は草と泥とを以て棲巢を作るに過ぎず。濰縣淄川、博山、棗園莊、周村、青州附近は農村一般に裕福なり故に彼等苦力は相當の恒産を有し其住居としても左迄見苦しからざる家屋を有する農夫にして尙各種労働に従事するもの例を見る事頗る多し紡績會社に在りては大半の職工は宿舍に收容して優遇の意を示す今各紡績會社に就きその設備を觀察するに、

鐘紡妻帶者宿舍
A 號宿舍 主として通譯把頭守衛等上階級の宿舍にしてその設備は各戸土間はセメントのたゞきとし居間は此の土間より約二尺五寸の高さに在り六疊及び四疊半の二間を有して之にアンペラを敷き別に炊事場の設備あり貸下料金は月額一元六十仙なり現在約五十家族を收容し得猶大倉組の手にて増設中なり。
B 號宿舍 主として練習生即ち日本内地に數ヶ月見習に派遣せられし職工の宿舍にして構造は大體A 號宿舍に等しく只居間數が六疊一間なり屋賃として月一元二十仙を徴す、現在五十戸の設備を有し前者と等しく増設中に屬す。
C 號宿舍 通常職工妻帶者の宿舍にしてその設備も大體前二者に等しく只間數に於て四疊半一間を有するのみ家賃月額一元を徴し現在二百戸の設備あり増建増中に屬す。
鐘紡獨身宿舍
今建設中なる故妻帶宿舍に四五人宛分宿せり、獨身者は總て家賃を徴せず。
右は鐘紡宿舍設備の概略なるも宿舍に附屬して各種の設備あり、第一は病院にして支那人中にも上等の部にては多少の料金を徴する事あるも普通職工は殆んど無料なりとす、第二は娛樂機關として遊藝園、グラウンド、バスケットボール等の設備あり又時に演劇、活動寫眞會等を催して單純に陥り易き機械職工の生活を或種の刺激を與へ以て能率の増進を計る、この外職工専門の浴場賣店等目下建設の道程にあり總ての設備は建設中なるを以て今之を詳記し得ざるの憾みあれども鐘紡は職工優遇の方法に於て資金を固定物に投ずる主義を採れるため自然その設備も完全せるは疑を容れざる所なり富士紡職工宿舍設備
a、獨身宿舍 一室に十五人乃至二十人を有し家賃は要せず只食費として平均一圓二十錢位を要するのみ。
b、妻帶家族持宿舍 五疊半一室を有し約四名居住する事を得、家賃として別に徴せざれ共電氣料及び水道料

あり貸下料金は月額一元六十仙なり現在約五十家族を收容し得猶大倉組の手にて増設中なり。
B 號宿舍 主として練習生即ち日本内地に數ヶ月見習に派遣せられし職工の宿舍にして構造は大體A 號宿舍に等しく只居間數が六疊一間なり屋賃として月一元二十仙を徴す、現在五十戸の設備を有し前者と等しく増設中に屬す。
C 號宿舍 通常職工妻帶者の宿舍にしてその設備も大體前二者に等しく只間數に於て四疊半一間を有するのみ家賃月額一元を徴し現在二百戸の設備あり増建増中に屬す。
鐘紡獨身宿舍
今建設中なる故妻帶宿舍に四五人宛分宿せり、獨身者は總て家賃を徴せず。
右は鐘紡宿舍設備の概略なるも宿舍に附屬して各種の設備あり、第一は病院にして支那人中にも上等の部にては多少の料金を徴する事あるも普通職工は殆んど無料なりとす、第二は娛樂機關として遊藝園、グラウンド、バスケットボール等の設備あり又時に演劇、活動寫眞會等を催して單純に陥り易き機械職工の生活を或種の刺激を與へ以て能率の増進を計る、この外職工専門の浴場賣店等目下建設の道程にあり總ての設備は建設中なるを以て今之を詳記し得ざるの憾みあれども鐘紡は職工優遇の方法に於て資金を固定物に投ずる主義を採れるため自然その設備も完全せるは疑を容れざる所なり富士紡職工宿舍設備
a、獨身宿舍 一室に十五人乃至二十人を有し家賃は要せず只食費として平均一圓二十錢位を要するのみ。
b、妻帶家族持宿舍 五疊半一室を有し約四名居住する事を得、家賃として別に徴せざれ共電氣料及び水道料

として月額八十錢を徴す若し一家族が二室を借る場合には電氣水道料として月額一圓五十錢を徴す。
別に支那人の通譯把頭等上階級に屬する者の住宅として一戸二間を有する住宅新築中なり。
宿舍附屬設備として有するものは第一に病院にして支那人職工病氣の場合には無料にて診察投藥せり。入院を要する程度の者は目下の處青島普濟病院に送り居り（但し業務負傷者に限る）この他能率増進の方法として娛樂機關にはグラウンドの如きものを有し時に運動會を催し又毎月曜日には寄宿工に會社より御馳走を給す、浴場は一週一回にして錢を要せず散髪は寄宿工のみ無料なり。
長崎紡職工宿舍設備
獨身宿舍 徒弟は一院子に房子を作り一室に七人乃至八人を收容す、院子には監督あり。
妻帶宿舍
a、事務員等の宿舍にして三室の設備あり即ち居間、炊事場、應接間にして宿料は月額二元を徴す。
b、守衛等中流労働者の宿舍にして居間及び炊事場の二室を有し月額一元五十仙の宿料を徴す。
c、職工宿舍にして一室を有するのみ月額一元の宿料を徴す。

上述の労働者以外吾人日常生活に重要な關係ある人力車夫は獨逸時代に於ては内外人雜居を許せざりしを以て處々に一大房子を作り二三百人の多數を收容せしが現今は各所の下級旅舍その他に小人数宛散在せり。（未完）

○鹽餘借款團の九六公債
民國九、十兩年間財政部の濫借せる内國銀行の小借款は非常に多く、鹽餘を以て擔保と爲せるものにもこの一兩

として月額八十錢を徴す若し一家族が二室を借る場合には電氣水道料として月額一圓五十錢を徴す。
別に支那人の通譯把頭等上階級に屬する者の住宅として一戸二間を有する住宅新築中なり。
宿舍附屬設備として有するものは第一に病院にして支那人職工病氣の場合には無料にて診察投藥せり。入院を要する程度の者は目下の處青島普濟病院に送り居り（但し業務負傷者に限る）この他能率増進の方法として娛樂機關にはグラウンドの如きものを有し時に運動會を催し又毎月曜日には寄宿工に會社より御馳走を給す、浴場は一週一回にして錢を要せず散髪は寄宿工のみ無料なり。
長崎紡職工宿舍設備
獨身宿舍 徒弟は一院子に房子を作り一室に七人乃至八人を收容す、院子には監督あり。
妻帶宿舍
a、事務員等の宿舍にして三室の設備あり即ち居間、炊事場、應接間にして宿料は月額二元を徴す。
b、守衛等中流労働者の宿舍にして居間及び炊事場の二室を有し月額一元五十仙の宿料を徴す。
c、職工宿舍にして一室を有するのみ月額一元の宿料を徴す。
上述の労働者以外吾人日常生活に重要な關係ある人力車夫は獨逸時代に於ては内外人雜居を許せざりしを以て處々に一大房子を作り二三百人の多數を收容せしが現今は各所の下級旅舍その他に小人数宛散在せり。（未完）

年の間に數千萬元成立しこれがために各小銀行は大いに發達せり、民國十一年董康は内外短債審査委員會を設け、あらゆる應餘借款を結算し九六公債を以て之を償還せんとせしが九六公債は基金不確實にして市場相場が如き三割に過ぎず、而して審査會に於ては八四掛の計算にて銀行に償還せんとせし所銀行測は之を承認せざる方なく連名書面を以て財政部に申請せるがそれは九六公債は保留し八四掛として計算する事には反對して當然承認する事を得ずと云ふに在り、此に於て財政部も止む無く同案を財政整理會に通知すると共に一書面を送致す、これが原文は左の如し。

前略 査するに本部が民國十一年一月間に於て應餘を以て抵當となし借款せる所は總計内債に於て七千餘萬元を又外債に於て二千六百餘萬元を不足せり即ち内外債合して約九千六百餘萬元なり、而るにこの借款は利率も既に高く期限も又甚だ短し故に期限到來して償還すべき元金利息は毎月約七百餘萬元を要す、此に於て毎月の應餘を以てしては到底之が元利を償還する事を得ずために期限の延期せること一再に止らず應餘收入を悉く之に充つも猶不足するの状態なり、依つて根本的整理方法を定めて前項の借款を償還せんがために償還内外短債八釐債券九千六百萬元を發行し専ら前項借款を償還するの用に資せんこととす、又一方各借款の文書を償還内外短債委員會に送りて審査を乞ひ嗣で委員會の送致せる報告に従ひ各借款を民國十一年一月十一日迄に總結算し前述の公債八四掛にて償還し猶不足の六割三分は中國交通兩銀行が九〇掛を以て償還し猶不足の分は別に方法を定むとす其前述の公債基金未だ確定する能はず爲めに元利支拂は豫期の如く實行するをせず原定計劃も殆んど座上の空談に等し、ここに於て各銀行業者は借款聯合會を組織して函請し三個の方法を具へんこととす即ち

(1)、支那貨借款は原定の期限に照合して利息及び期限經過後の利息を結算計算には複利を用ふ

(2)、外國貨借款は十一年一月三十一日以前に於ては外貨を以て元利計算を爲しこの日に不足の元利外貨を銀元に換算し一月卅一日以後には銀元を以て利息の計算を爲す、期限、利率及び複利等はやはり原契約に照合して計算するものとす

(3)、九六公債は總て保留を爲し昨年九月間收むる所の第一期利息(即十一年七月三十一日支拂ふべき利息)及び他の支拂金は利率計算の上利息の支拂を爲すべし。

而れ共應餘借款中太平洋貿易公司の如きは不足金の計算をなすに複利を以て計算せず諸所の支那貨及び外國貨を複利計算となすの一項は非常に困難多くして許可し難く、又發する所の九六公債に至つては不足金支拂の一部を爲すものにして保留する等は到底實行し難き所なりとしてこの儘になり居りし所茲に再び同團より來信あり三個の方法を具呈す、即ち

(1)、中外各借款は既に原合同の條文に照して本年九月迄を結算し、九月以後は即ち原契約に於て結算せる數字を改めて新契約を成立し期限をすべて同一ならしむ。

(2)、外貨借款は本部先きに許可せる十一年一月三十一日の市價に照して支那貨に換算し、利息は十一年一月三十一日以前の者は外貨を以て計算しそれを支那貨に換算し十一年一月三十一日以後は均しく支那貨に依りて計算す、結算方法は亦原契約の條文に照して所分す。

(3)、九六公債は保留し其の已に收受せる第一期の利息は預金金庫債權額とし基本金確實なるを俟ちその償還しても可なりと雙方が認めし時再び相談を行ふ、九月以後各借款の元利に至りては特に新契約を立て其の利率の如きも亦特別減少して原契約に比し酌量減少し惟新契約成立以前に在りては原契約信用を尊重せざるを得ず即ち原契約に従ひ一切を辦理す。

と云ふに在り。思ふに該團列舉せる所の方法は前後同一ならず且本部原定の計畫と相距る事遠し、九六公債は當然八四掛を以てその償となしこの割合を以て結算すべく之が保留は一層事を不便ならしむべしとの意見を財政部は財政整理會に致せり。

時事

生肉輸出業者の償却金積立

尠なからざる波瀾を経て漸く其成立を見たる中外合資青島宰畜公司の日本側出資額十八萬四千圓は全部調達拂込を了へたるも之等は全部鮮銀或は金融業者より

借入たるものなるを以て去る二日組合總會を開き之が償却方に對し協議の結果輸出牛一頭に對し一圓宛を積立て該積立金を以て償却に充當する事に決定せるを以て多數の輸出を爲したるもの程多く株式を所有し得る譯にして十一日出帆の嘉義丸より實行し約二箇年半を以て完了の豫定なりと。

棉花水質検査所の必要

當港より輸出せらるる棉花は最近急足の發展を示し濟南に於ける紡績用原棉及日本内地向布團棉の取引漸次盛大に赴きつゝあるの状態に在るが昨今米棉安に相場は軟弱氣配を呈し米種銀六十二三圓濱州五十八圓威縣五十六七圓普通五十五圓見當を呼び内地は同月積阪神六十七圓五十錢所を弱保合ひつゝある尙天津港に於ては從來より水質検査所の設備あり其合格品に非ざれば取引を容さざれども濟南及青島に於ては未だ其設備無きを奇化とし奸商等は殊更に水分を多くし自己の利益を計らむと努むるものあり如斯は取引の敏活を阻止するのみならず不合格品を夥多ならしめ遂に本年の不渡り事件を發生せしめ斯界の恐慌を惹起せるに鑑み何れも検査所の必要を感じつゝあれば或は來年頃より其設置を見るに至るべしと

在青諸銀行の營業狀況

當地諸銀行の十一月末に於ける預金及び貸付の總額は左の如し。

預金	銀	一〇、二七八、一七三圓
貸付	銀	七、〇〇九、七三六圓
預金	金	七、二〇九、四八〇圓
貸付	金	四、四一七、二五八圓

右營業狀況を前月に比するに預金に於ては金に於て三、五一八、四六五圓の増加を見るに至らざるべし。

を示せるも銀元に於て一、三三四、六五一元の減少を示せり。又貸付方面に於ては之と反對に金圓に於ては三四、八六三八圓の減少を示せるも銀元に於て二、三二一、八七二圓の増加を示せり。

無線問題に對する支那の態度

北京雙橋に於ける三井の無線電信は成績益々良好にして海軍部よりは頻りに引渡しを要求し居れるが支那政府は交通部に於て別に米商「フエデラル」の間に無線電の契約を爲したる事は三井對支那政府の契約を無視したる違法の行爲なるを以て三井よりは之に對する支那政府の處置を促しつゝある一方米國公使も亦支那政府に對し「フエデラル」の起工許可書の交付を迫りたる爲め問題は至難の姿となり支那當局は始終逃難の態度を採り居れるが支那が何時迄米國の壓迫に堪得るべきかは疑問にして日本側としては此際壓迫強硬の態度を採る必要あり斯くして北京は今や本問題を以て緊張し居れり

支那商標法問題

北京政府農商部の交付せる商標法に對し外國側に於ては其承認如何に關し目下考究中にして日英米の三國外交官より委員を選出し研究を重ねつゝあり研究の要件登錄許可を先願權とするか使用權とするか又は迄の税關の假登録を既得權とするか否や等の諸點に存じ必ずしも根本に於て異議あるものに非ざれば遠からず外交團側の意見は決定し支那政府との交渉に移るならんも裏面には外交上の一種の掛引もあり又商標に關する顧問等の問題も潜み居るとの説もありて迅速に解決を見るに至らざるべし。

銀塊並爲替

週間を通じ取引閑散にして印度引續き買手なれど供給はざる爲め相場は強含みにして月曜三十三片十六分の一より續騰を續け三十三片八分の五にて越過す。

爲替

月曜墨西哥動亂の爲先物銀塊買約不能の報を入れて市場硬化し標金相場寄附三百二十六兩五〇より三百二十二兩五〇に下落、加ふるに金融依然梗塞直物賣手絶へず、殊に日本向は日米下落氣拂へに著しく低落し標金土曜三百十七兩五〇を呼ぶに至れり。	相場は月曜十二月限三志三片八分の三	一月限三志二片十六分の十一、木曜十二月限三志三片四分の三、一月限三志二片八分の七、土曜十二月限三志三片四分の一、一月限三志三片八分の三。	英米クロッスは概して堅實にして月曜四三七弗士曜四三七弗四分の一。
爲替相場表	爲替相場表	爲替相場表	爲替相場表
英米爲替 四三三・二五	英米爲替 四三三・二五	英米爲替 四三三・二五	英米爲替 四三三・二五
正金日本向 二五五・二五	正金日本向 二五五・二五	正金日本向 二五五・二五	正金日本向 二五五・二五
同倫敦向 二五五・二五	同倫敦向 二五五・二五	同倫敦向 二五五・二五	同倫敦向 二五五・二五
同米國向 二五五・二五	同米國向 二五五・二五	同米國向 二五五・二五	同米國向 二五五・二五
同上海向 二五五・二五	同上海向 二五五・二五	同上海向 二五五・二五	同上海向 二五五・二五
同天津向 二五五・二五	同天津向 二五五・二五	同天津向 二五五・二五	同天津向 二五五・二五
同滿州向 二五五・二五	同滿州向 二五五・二五	同滿州向 二五五・二五	同滿州向 二五五・二五
倫敦銀塊 三三・二五	倫敦銀塊 三三・二五	倫敦銀塊 三三・二五	倫敦銀塊 三三・二五
紐育銀塊 三三・二五	紐育銀塊 三三・二五	紐育銀塊 三三・二五	紐育銀塊 三三・二五
大連銀塊 三三・二五	大連銀塊 三三・二五	大連銀塊 三三・二五	大連銀塊 三三・二五
齊齊公所 三三・二五	齊齊公所 三三・二五	齊齊公所 三三・二五	齊齊公所 三三・二五
現物買 二二〇・二五	現物買 二二〇・二五	現物買 二二〇・二五	現物買 二二〇・二五

商 況 (自十二月十日 至十二月十五日)

重要商品市況

○綿糸 週間を通じて米綿は可成りの波亂を見せたるも實需方面の買氣中々旺盛なるも問屋筋手持殆んど一掃されたる折柄とて市況底意強硬多少の好材料にも常に反撥を示し一般配良好に經過せり實需筋の買は主に十六手に集中され二十手稍々不振、日本品細物は週末に至り多少の取引を見たるのみ。

○綿布 主に雜綿の小口取引を見たるのみなるも生地物も週末に至り爲替の愈々強硬に弗々出合に近付き小口の商談を見たり。週中成行左の如し。

品名	月	水	土
銀	20	一七五〇	一七五〇
金	20	一七五〇	一七五〇
銀	20	一七五〇	一七五〇
金	20	一七五〇	一七五〇
銀	20	一七五〇	一七五〇
金	20	一七五〇	一七五〇

○石炭 三井物産の手を経て八幡製鐵所所川粉炭一五、〇〇〇噸本年度内追加(合計三〇、〇〇〇噸)成約を見、猶上海送り同粉三〇、〇〇〇噸三菱の手にて犧牲的安値にて成約を見三菱及び該荷は大成號にて十六日積出さる事となり過般來賣拔に腐心しつゝありし淄川粉炭は此れにて略まし所分を了したる譯なり地元

に於ては需要期に入りしと共に又土産積出期に入りこの方面に對しても石炭車を奪はるゝがため頃來貨車繰り逼迫の情勢表はれしも一般貯炭豊富のため未だ之に依り支障を感ずる事少く大口消費者に於ては警戒せられつゝあり。猶銀塊の反撥に内地炭入荷の氣勢をそへつゝあるも貯炭豊富實行不振なるを見未だ引貨するに到らず。

○砂糖 當地市況は相不變餘り荷動き無く從つて相場も變りなれど爲替が有利に變化せるため多少の値段稍寄せを見しも新規引合を進んでなす向はなし、今少し奥地方面に荷動きを見れば舊正月前に多少の引合あるべし。

外糖は何れも相當高値を呼ぶ故爲替不利とならざる限り追々値段出で来るべし相場はT E 庫渡十六弗四五十錢見當保合

○燐寸 市況依然活潑ならず目星しき商談無し。

○麥稈眞田 歐洲向の特別注文弗々入り来るのみにて大なる引合無し。

○鶏卵 内地正月手當として注文は相當あれど出廻りのため銀高に係らず相場は週初三五物十七元五六十錢より漸騰して週末には三五物十八元四五十錢三〇物二十一元五十錢二八物二十三元五十錢見當の高値保合。

○牛骨 此項は爲替高と更に内地も多少勢ひ付きたる模様にて十錢弱み引締つて門司沖四圓三十錢所を稱して居るが賣手は五十錢を唱ふ當地は出廻り依然順調ならず爲に相場も小港濱渡裸にて週央銀三元見當。

○骨粉 内地肥料界好況を受けて強調を呈し普通品十二、一月阪神沖百五十六圓見當を稱し蹄角粉は百六十五元乃至七十元見當。

○麵 メリケン粉の壓迫を受けて當地方に於ける製粉業は愈々不振の状態に陥り濟南地方を始め當地方の製粉業も殆んど操業中止の状態に在り從つて從來輸出品として首要の地位を占めし麵取引も此儘推移せば目ならずして絶望となるに至らざるやと懸念せる向もあり相場は週央倉渡銀三元六七十仙見當なるが商談皆無なり内地は阪神沖四元六十錢、橫濱沖四元七十錢乃至四元八十錢見當。

○牛脂 週間銀相場の昂騰に依り總ての輸出貿易は殆んど一時停頓の有様を呈し目下内地相場は依然沖值二十三元七八十錢見當を稱し居れるが銀高の爲め今の所引合無きが如し然し支那側も手持筋は漸次疲弊し来る模様の爲邦商の買氣無くば買唱値段普通品銀十七元一、二十錢見當迄は下押の見込なるが目下の相場は十八元見當の高唱へなり。

○落花生 爲替變動の影響を受けて先物は殆んど無く無殼の現物は天候順調なるために出廻り旺盛なり濟南よりの貨車も不足なれど弗々手に入るため同方面よりの入荷も少からず特に膠濟鐵道にては石炭用無蓋車を落花生用に應用しつゝあり大汶口物西南口物濟東物等出廻る、相場は無殼西南口物九弗二十仙乃至九弗二十五仙見當、大汶口物(泰安、曲阜物)九弗乃至九弗十仙見當、濟東物八弗九仙見當、博山物九弗十仙見當、一般普通品八弗八九十仙見當の保合を續け買付先

は殼無落花生は主として第二流の邦商廣東幫にして邦商の一流所も相當引合あり殼付は主として外商筋に多く中にも培字最も活躍し、本週に入りてより達隆、中川(英商)の二洋行出現し主として殼付の買付けを行へり。

○落花生油 歐米市況は落花生には變りなれど生油方面に大いに買氣付きし結果廣東幫の買付以外に一流輸出商も弗々買付け始め相場は平度物等の上物十九弗見當にして大汶口物は五六十錢安値なり。

○豆油 殆んど取引無し。

○生油 此週は前週に引續き市況極めて閑散波瀾に乏し、十二月物は一向氣乗り薄にてむしろ一月

物に注意向けらる相場は十九弗二十仙乃至十九弗二十五仙の保合状態、一月物は週初より十八弗八十仙の保合持續。

○生實 銀相場昂騰に一般に見送られ週間を通じて出廻り不振に終る。

○錢 鈔 週初上海大連の強調を移して本市相場も昂騰に昂騰を重れ高値百十三圓九十錢を覗きしが間もなく反動安となり續落を續けて安値百十一圓六十錢となり週末には再び上海大連の強調を移して漸騰となり高値は近物百十四圓五十錢先物百十三圓五十錢を覗きたるも歩調頗る亂調子にして百十三圓五十錢に大引け

樟腦は藥用、消毒劑、及びセルロイド製フィルム、無烟火藥製造用としてその用途甚だ大なり。吾台灣は樟腦の世界的產地にして既に一八七〇年頃年額約一萬二千擔の樟腦を輸出せしが、一八九四年吾國の本島統治權獲得以來樟腦は政府の專賣となり大いに改良を加へし結果年産額約三萬九千擔を得るに到れり。而るに一方支那に於ける樟腦も世界的需要の旺盛に刺激せられて大いに發達進歩を示せるがその主要產地は福建、江西、廣東、廣西、湖南、湖北及び四川省の一部なり此の結果五十年前に僅々一擔(一三三封度三分一)十兩内外なりしものが一九二〇年及び一九二一年には約二〇〇兩に上進するの勢を示せり。

現在世界の樟腦消費量は年約八萬擔に上り中約六割は日本及び台灣が之を供給しつゝあり。この他米國及び獨逸に於て製造される樟腦も使用さるゝもその製産費高價なるため從つて使用量に一定限度あり。残りの三割内外は即ち支那により供給さるゝものなり。

次に示せる表は支那海關の發表せる過

過十箇年間支那各港輸出樟腦の量及び價額なり。

年 度	輸出額(擔)	價額(海關兩)
一九一三	一、八五七	一二九、三五二
一九一四	一、八一〇	一三一、五七四
一九一五	一、三一八	九八、〇七五
一九一六	二、三三〇	一八一、六七三
一九一七	三、五四七	二六、一九一八
一九一八	五、七四二	四二八、〇七四
一九一九	二、〇九三	一、九五三、五二三
一九二〇	二、九四七	二、八四〇、〇四三
一九二一	一、六五三	一、四二三、七九八
一九二二	一、二五六	一、〇〇七、三五五

支那國有鐵道の通行税は日本に於ける如く統一せるものに非ず之が率を決定する標準は鐵道の建設費、運轉費、例年運搬客の推定數等に依り決せらるゝものなり。而れども國有鐵道には船賃と競争すべく餘義なくせられしもの少からずその代表的の物は滬寧鐵道にして同線には之に並行して數條の水路を有す。

次表は支那國有鐵道の一基米當り各等の稅表にして單位は墨銀弗仙なり。

支那國有鐵道の通行稅

品名	一擔	一噸	一車	一輛
米	\$0.039	\$0.026	\$0.013	—
煤	\$0.0375	\$0.025	\$0.0125	—
油	\$0.045	\$0.031	\$0.0155	—
糖	\$0.030	\$0.015	\$0.0075	—
鹽	\$0.02835	\$0.0189	\$0.0075	—
正太鐵	\$0.048	\$0.025	\$0.016	—
滬寧鐵	\$0.03228	\$0.02485	\$0.01243	—
津浦鐵	\$0.036	\$0.024	\$0.012	—
平漢鐵	\$0.0375	\$0.025	\$0.0125	—
京滬鐵	\$0.045	\$0.031	\$0.0155	—
京漢鐵	\$0.030	\$0.015	\$0.0075	—
京張鐵	\$0.02835	\$0.0189	\$0.0075	—
正太鐵	\$0.048	\$0.025	\$0.016	—
滬寧鐵	\$0.03228	\$0.02485	\$0.01243	—
津浦鐵	\$0.036	\$0.024	\$0.012	—
平漢鐵	\$0.0375	\$0.025	\$0.0125	—
京滬鐵	\$0.045	\$0.031	\$0.0155	—
京漢鐵	\$0.030	\$0.015	\$0.0075	—
京張鐵	\$0.02835	\$0.0189	\$0.0075	—

右表中の最高率は鄭桃鐵道及び京綏線にして前者は一等が〇〇、五後者は〇〇、四六五元なり。

右表中の最高率は鄭桃鐵道及び京綏線にして前者は一等が〇〇、五後者は〇〇、四六五元なり。

膠 濟 鐵 道 月 報

(大正十二年十月中)

青島、大港、埠頭三驛發著貨物主要品 (其一)

(一車扱) 單位噸

品 名	藍 村	膠 州	高 密	昨 山	坊 子	濰 縣	昌 樂	青 州	張 店	周 村	濟 南	博 山	其 他	計
發 送 貨 物														
綿 紗	23	—	156	125	56	337	5	75	—	275	1,070	30	119	2,271
煙 絲	—	15	—	—	—	—	—	—	—	10	497	20	—	542
石 灰	—	—	—	15	—	65	—	38	—	35	583	5	—	741
麻 木	—	—	50	11	—	15	—	—	—	30	95	60	65	326
雜 貨	33	75	225	90	45	80	—	26	—	6	452	5	70	639
塗 料	—	—	—	—	5	—	—	—	10	—	143	—	5	163
布 疋	30	—	55	—	55	37	—	15	52	30	64	—	—	74
油 料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,520	—	724	3,528
其 他	217	297	167	15	45	483	5	165	35	597	1,190	408	3,186	3,186
計														4,008
到 著 貨 物														
花 花	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,061	—	58	1,125
棉 花	188	14	6	—	105	—	—	—	—	—	39	48	—	400
葉 子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	453	—	329	782
桐 油	—	—	—	—	375	32	—	—	—	—	—	—	376	683
雞 蛋	—	—	192	10	—	—	10	—	5	—	717	—	—	742
麥 子	—	—	—	20	—	—	—	10	81	—	1,096	—	—	13,99
石 灰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	600	—	—	600
牛 皮	—	—	—	—	825	—	—	—	—	—	—	—	35	35
生 油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11,055	16,860	28,740
其 他	—	—	45	—	—	—	—	—	—	—	300	1,200	15	1,515
計														45

(小口扱) 單位公斤

品 名	藍 村	膠 州	高 密	昨 山	坊 子	濰 縣	昌 樂	青 州	張 店	周 村	濟 南	博 山	其 他	計
發 送 貨 物														
綿 紗	1,250	520	330	2,520	—	—	—	—	—	—	—	—	17,754	22,374
煙 絲	870	172	585	—	—	78	—	1,050	70	—	90	—	5,557	8,464
石 灰	510	—	—	—	120	—	—	—	—	—	—	—	1,225	1,855
麻 木	985	6,670	9,290	—	3,855	5,830	1,470	8,760	770	23,505	2,940	10,195	44,111	118,461
塗 料	460	1,210	5,470	570	5,150	245	—	2,822	626	581	3,825	11,040	21,629	53,628
布 疋	230	375	320	—	70	2,407	—	—	—	—	80	—	335	3,817
油 料	—	80	645	—	235	—	—	—	290	—	—	—	4,796	6,046
其 他	1,806	2,987	470	1,025	1,930	6,737	3,067	50	570	175	3,440	1,118	530	3,205
計														41,591
到 著 貨 物														
花 花	1,684	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112	—	294	2,090
棉 花	—	—	150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,100	1,100
葉 子	204	—	690	—	—	—	328	—	—	—	—	—	78	228
桐 油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,436	3,748
雞 蛋	9,439	—	935	3,007	2,190	2,952	—	751	—	—	28	—	12,217	31,519
麥 子	1,299	—	—	—	—	—	710	—	—	—	—	—	147	857
石 灰	—	—	—	—	1,100	—	—	—	—	—	—	—	352	1,651
牛 皮	2,587	465	152	—	4,344	1,153	248	245	—	—	—	57	—	1,157
生 油	—	—	—	—	59	—	71	—	—	13	759	43	2,503	12,499
其 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,916	—	1,553	5,612
計														

青 島 港 輸 出 牛 肉 輸 出 者 別 調

(大正十二年十一月中)

輸 出 者	東 京	名 古 屋	京 都	大 阪	神 戶	宇 品	吳	廣 島	下 關	門 司	八 幡	佐 世 保	大 木 田	大 連	計
川井稻原	245	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
稻原花西	81	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62
堀大大	—	20	—	—	10	—	—	254	3	—	—	—	—	—	245
堀高	62	—	—	—	142	—	—	—	—	—	—	—	—	—	368
高谷田	165	—	—	139	98	—	—	—	—	10	—	—	—	—	199
中王	20	—	—	10	53	—	—	—	—	4	—	—	—	—	99
白梅	20	—	—	80	143	—	—	266	—	—	2	—	—	—	184
山松	—	—	—	60	95	88	—	—	—	—	—	—	—	—	221
松松	—	—	—	80	54	40	—	—	—	79	—	—	—	—	511
松國	—	—	—	72	31	—	—	—	—	6	—	—	—	—	299
松新	—	—	—	10	126	—	—	—	15	—	—	—	—	—	263
門青	35	20	—	40	103	15	—	—	—	98	—	—	—	—	26
杉乾	—	—	—	35	85	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31
盛村	—	—	—	30	20	90	—	—	—	—	—	—	—	—	213
猪	—	—	—	29	40	—	—	20	17	—	—	—	—	—	50
	—	—	—	275	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	153
	—	—	—	15	5	—	—	—	—	112	—	—	—	—	158
	—	—	—	82	—	—	—	—	—	67	—	—	—	—	150
	—	—	—	10	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	110
	—	—	—	95	15	7	—	—	—	—	—	—	—	—	83
	—	—	—	56	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60
	—	—	—	8	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15
	—	—	—	118	165	67	—	—	—	50	—	—	—	—	252
	—	—	—	75	—	—	—	—	—	65	—	—	—	—	10
	223	20	—	17	—	302	4	—	10	54	—	—	—	—	162
	—	—	—	47	—	78	11	—	5	—	—	—	—	—	40
	—	50	—	—	192	—	—	423	3	87	—	—	—	—	102
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	437
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	755
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	85
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43
	851	110	37	1,144	1,824	687	15	963	53	650	2	20	46	207	6,609